

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人光洋会	代表者	田中 八枝子	法人・事業所の特徴	様々な場面で利用者の自己決定を促し、趣味や家事活動にも個々の能力や希望に応じて参加して頂いている。利用者や家族の生活状況に合わせて通いや訪問、泊りサービスを柔軟に組み合わせている。特に通いでは、就労のある家族のニーズにもあわせて利用を受け入れるなど本人だけでなく家族の生活にも配慮している。地域に向けた取り組みでは社協主催のサロンで介護予防や認知症啓発の出張講演に出向いたり宗像市内外の小規模事業所と勉強会や交流会を開き職員の学びの場としている。中学生の職場体験や社会福祉士の実習も受け入れ次世代の福祉の担い手の育成にも力を入れている。
事業所名	城山庵	管理者	小方 奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	2人	人	人	4人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者との会話では、生活歴や自宅での様子など利用者に関する情報を聞き取るという意識を持って業務にあたる。 職員は「スタッフ評価」で改善計画の立案まで各自考えて評価し外部評価を効率よく進めていく。	利用者の情報収集については職員のコミュニケーション能力に差がある為上手く情報を引き出せない職員もいる。 今年度の外部評価は前年度の計画に沿って進め、前年度より効率よくおこなえた。	職員の自己評価にばらつきがあるのはなぜかという質問に対して、自分自身で判断するか事業所として判断するのかで自己評価が変わってきたり、自分自身を厳しく評価するかどうか、個人のものさしによっても評価に影響がある。	職員に向けて小規模外部評価についての勉強会を実施し、自己評価について解釈の統一をはかる。
B. 事業所のしつらえ・環境	トイレの換気扇のスイッチが切れたりフロアの不快な臭いが解消できるよう換気扇使用を意識しておこなう。	トイレの照明はセンサーで反応する為、利用者が換気扇のスイッチを照明と間違えて消してしまうことがあり職員が確認を続けている。オープンキッチンなので適時フロアの換気扇も使用し環境面も配慮している。	玄関は施設というイメージではなく、自宅に来た印象を持っていたりただけのよう係を決めて季節ごとに玄関の装飾をほどこしている。居室が居心地の良い空間になっているかを客観的に判断する事は難しい。	ハード面は出来ているので利用者が居心地良く過ごせる様、職員はソフト面での気配りを意識して業務に取り組む。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>通勤途中にも一般の方へ積極的に挨拶する「あいさつ運動」を実施する。</p>	<p>職員は駐車場から事業所までの通勤途中には近隣の方に対して挨拶をおこなっているが利用者の住んでいる地域の方にも目を向ける必要がある。</p>	<p>小規模多機能がもっと相談や利用しやすくなるためには、住民の家をまわって変化に気づきやすい民生委員に小規模のサービスを理解してもらうことが大切である。吉武、赤間地区の民生委員に小規模のサービスについて研修会を開いて欲しいと要望があった。</p>	<p>地域の方や利用者の送迎時にあいさつ運動を継続しておこなう。民生委員に向けて小規模サービスについての研修会を開催し理解を深めていただき、相談しやすい関係作りを目指していく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>認知症独居の方の住んでいる地域の民生委員や近隣住人との連絡体制を作り、連携が図られる関係作りを目指していく。地域の行事やイベント参加については行き先や行程について利用者の意見を取り入れて実施していく。</p>	<p>認知症独居の利用者の住んでいる地区の民生委員や組長、隣近所の住民には家族の帰省など予定を伝えて情報を共有し、変化があった時には連絡をもらい、すぐ対応できる様になっている。年間行事や季節の花見など利用者にも行き先や食事の場所など意見を取り入れている。</p>	<p>地域の方を交えた会議という形ではなくても利用者を取り巻く関係者とは情報交換をおこなっている。個人情報という事もあり利用者以外のご近所の心配な方の相談が事業所にきたことはなかった。</p>	<p>事業所外に利用者を連れ出す機会を作るよう職員各々がモチベーションを上げて業務に取り組む。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>推進委員からも地域の心配な方への支援について情報をいただき、会議の中でも対応策や支援のあり方について検討する。</p>	<p>推進委員が地域の心配な方の事例を出して検討するのは個人情報ということから難しいようなので、事業所から利用者の事例を通して支援のあり方を推進会議で検討した。</p>	<p>地域の心配な方に対しても民生委員と関係性ができるまでには時間がかかり、顔見知りになっても具体的に関わっていないので状況を把握することは難しい。</p>	<p>事業所から推進委員に向けて利用者だけでなく地域の心配な方について事例検討をおこなう機会を作っていく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>城山庵の防災訓練に近隣の方が参加してもらえるよう呼びかけの方法を工夫する。</p>	<p>防災訓練や避難訓練に地域の方も案内を出すなど呼びかけたが参加はなかった。応援体制という点では隣に特養とサ高住ができたので、応援体制としては心強くなった。</p>	<p>今年度は避難訓練に推進委員の方の参加をお願いしなかったので新しく委員になった委員は参加したことがない。</p>	<p>推進委員の方々が城山庵の防災訓練に参加できるようにする。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (19 : 00 ~ 19 : 20)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	14 人	3 人	1 人	20 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・利用開始時に利用者のアセスメントだけでなく家族状況や家族の心情にも目を向けて配慮する。・体験利用のときや利用開始直後 1 週間ぐらいはその日の担当職員を一人決めて対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・利用開始前には利用者本人の状態だけでなく、家族や本人の意向も定例会や朝礼の申し送りで伝達するようになっている。・体験利用や利用開始時には、担当する職員を決めて不安が少ないよう声かけをしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	12	3	1	20
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	13	4	1	20
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	13	2	2	20
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	9	7	2	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用開始前には利用者やその家族に関わる情報を共有できるよう、職員に回覧し状況が把握できるようにしている。・利用開始した利用者にはその日の担当職員を配置し、場を離れる時は別の職員に引き継ぐなどして不安軽減に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用開始直後の様子について連絡帳を通しての家族への報告が充分できていない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・家族への報告が的確にできるよう利用者をその日担当した職員が連絡帳に利用時の様子など記入する。・送迎時に家族へ配慮した声かけをおこなって行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (19 : 20 ~ 19 : 40)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	11 人	8 人	1 人	20 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションや外出行事の企画に当たっては利用者にも参加していただき、意見を聞く機会を持つ。 ・午後のレクリエーションの時間は全体レク以外で個別に取り組んでいる活動に取り組みやすいよう準備しておく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の行事を決める際には、利用者からも希望をいただき、今年度は「入学式」や季節の花見など利用者の意向に添った行事を計画、実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	10	4	20
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	12	4	20
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	13	2	20
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	3	12	2	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「～したい」が確認できた利用者には担当職員が個別に取り組むことを計画し、準備をおこない、日々の活動で取り組んでいる。 ・実践した内容については継続できる様に情報交換ができています。 ・行事の参加や外出時の食事のメニューは利用者に希望を尋ね、利用者の {～したい} を目指している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が興味を示したなど日頃の観察から知り得た情報について記録が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ができた事に対し賞賛を欠かさず、次へのモチベーションを高めるよう、誉め上手になる。 ・利用者の知り得た情報を記録に残す意識をもつよう、記録担当の係が定例会や申し送り内容についての気づきを発表する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (19 : 40 ~ 19 : 55)

3. 日常生活の支援

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	8 人	0 人	2 人	20 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 朝の申し送り時に前日の業務日誌を読み上げて記載漏れはその場で記入していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 翌朝に前日の夕方の申し送りで得た必要な情報を確認することで、夕方の記録を担当する職員も記録する意識ができてきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	4	13	2	20
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	14	1	1	20
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	9	3	20
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	13	1	2	20
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11	5	2	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 常に変化に気づけばケアマネや管理者に報告し、日々の申し送りや朝礼で他のスタッフにも情報を共有したりケアについて意見交換をおこなっている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 以前の暮らし方に添った個別の活動ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の担当職員が年に 1 回、その方の暮らし方を意識したアクティビティ活動を計画し、実施する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (19 : 55 ~ 20 : 05)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	10 人	7 人	2 人	20 人

前回の改善計画	<p>・独居、同居に関わらず、その人の地域を意識した話しかけをしていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・職員だけでなく、利用者同士でも同郷の方との話が出来た機会を作っているが、そこで新たな情報については記録できていない事がある。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	9	2	20
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	9	2	20
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	3	14	2	20
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	7	5	8	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・その方の住んでいる地域や実家の話をしたり、同郷同士の話ができるよう促している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・プライバシー保護の観点から話を聞きづらい事もある反面、直接接していない時のことをご家族に尋ねてもあまり把握されていない事がある。独居の場合はより把握されていない。 ・市外から転居し、家族と同居となったケースが多く、地域との関係性も薄い。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>・利用者を取り巻く家族やその方の住んでいる地域の方との関係を築くよう積極的に挨拶をする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (20 : 05 ~ 20 : 20)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	13 人	1 人	1 人	20 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 朝の健康観察で体調不良の利用者がいれば看護師がバイタルチェック表にチェックを入れ午後の介護リーダーがそれを把握し、その日の活動参加を決める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 朝のバイタルチェックで体調変化がある利用者は、看護師から午後のリーダーに申し送り体調把握に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	10	7	1	20
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	12	0	1	20
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	14	1	2	20
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	15	2	1	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 独居の利用者については必要に応じて近隣の方や民生委員ともコンタクトが取れている。家族に用事が出来た時には泊りだけでなく、通いの時間を延長するなど柔軟に対応している。 独居の方には、緊急時の訪問サービスや通所の受け入れ等生活変化に応じてサービスを提供している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職員数に余裕がなく、急な泊りの受け入れができない。また登録利用者数が減少し職員を増やす事が難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 登録者数を増やす為に組織的な協力が得られるよう呼びかける。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (20 : 20 ~ 20 : 35)

6. 連携・協働

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	9 人	3 人	3 人	20 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 今年交流が出来た赤間地区子ども会や学童保育に事業所の方から交流を提案しその場を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 赤間地区子ども会とは今年もハロウィン行事で訪問を受け、事業所との関係性もできつつあるが事業所から積極的な働きかけはマンパワーの問題もありできない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	11	4	3	2	20
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	6	5	5	4	20
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	5	13	2	0	20
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	7	7	3	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議では小規模の職員も参加し、他機関との情報交換やケアプランについて検討の場を作っている。 隣にサービス付高齢者住宅やデイサービス、特別養護老人ホーム、託児所ができたので庭には常に利用者以外の方が来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 通常業務で精一杯のためこちらから地域へアプローチする事ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 城山庵で開催する行事に合わせて地域住民に向けた勉強会の開催を企画する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (20 : 35 ~ 20 : 50)

7. 運営

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	9 人	3 人	3 人	20 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のあり方とは何かをまず話し合う。その上で事業所のあり方について職員全員が意見をいう事が出来るよう申し送りや定例会で発言の場を多くする。 ・家族会で出来るだけ多くのご家族から意見をいただけるよう参加しやすい日時や曜日を家族アンケートで把握し家族会を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りや職員会議では広く職員から意見を求めるようにしている。 ・今年度は家族会の出席しやすい日時について家族アンケートでご意見を収集した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	12	4	2	20
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	10	3	2	20
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	8	5	3	20
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	7	9	3	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族アンケートの実施や推進会議では事業所の運営や活動について意見をいただいたり、小規模の事例を紹介し、サービスのあり方についても地域住民の声をいただいている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・直接地域の方から意見をいただくことは少ない。地域の行事に参加はしているが、協働するにはマンパワーが足りない。また、地域との協働と言う点では宗像市の場合、その役割は包括支援センターが担っている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・市の方針に従い地域活動については現状で良いと思われる。家族からの意見や苦情については、家族がより意見を言いやすいようなアンケート内容を再考する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (20 : 50 ~ 21 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	10 人	3 人	1 人	20 人

前回の改善計画	・職員個々の研修計画を個人管理にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員各自で1年間の研修会計画を管理し、1年を通じて出席の記録をとることで研修会への出席のモチベーションを高めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	12	5	0	20
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	9	8	2	20
③	地域連絡会に参加していますか	7	4	3	6	20
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	13	3	2	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・施設内、法人内、市内において研修の場は豊富にあるので希望があれば自己研鑽する事が出来る。 ・インシデントレポートや城山庵独自でニアミスシートを作り、起きた事案については委員が毎月取りまとめ、経過や対策を職員に回覧し周知している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・リスクマネジメントについては委員に任せているため、他のスタッフの意識に欠けている。また K Y T の機会を今年度は持っていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・全職員が K Y T の準備を行う事で、職員のリスクに対する意識を高める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (21 : 00 ~ 21 : 10)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	15 人	3 人	0 人	20 人

前回の改善計画	・ 個人情報が記載されているバインダーやファイルを利用者の目に触れやすいカウンターに置いたままにせず所定の保管場所に置く。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 個人情報の記載されたバインダーやファイルに関しては利用者の目に触れない場所に置くことが定着した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	9	0	0	20
②	虐待は行われていない	12	8	0	0	20
③	プライバシーが守られている	4	15	1	0	20
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	8	3	9	20
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	16	1	0	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 人権やプライバシーの勉強会を毎年行い、職員の意識付けをおこなっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 声かけや情報を共有する際、声の大きさに配慮できていないことがあるが、その時利用者の目の前のため注意するタイミングを逃している。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 注意する時のサインを作り利用者の前でもお互いに注意できるようにする。	